

伊勢湾貧酸素情報（第 5 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

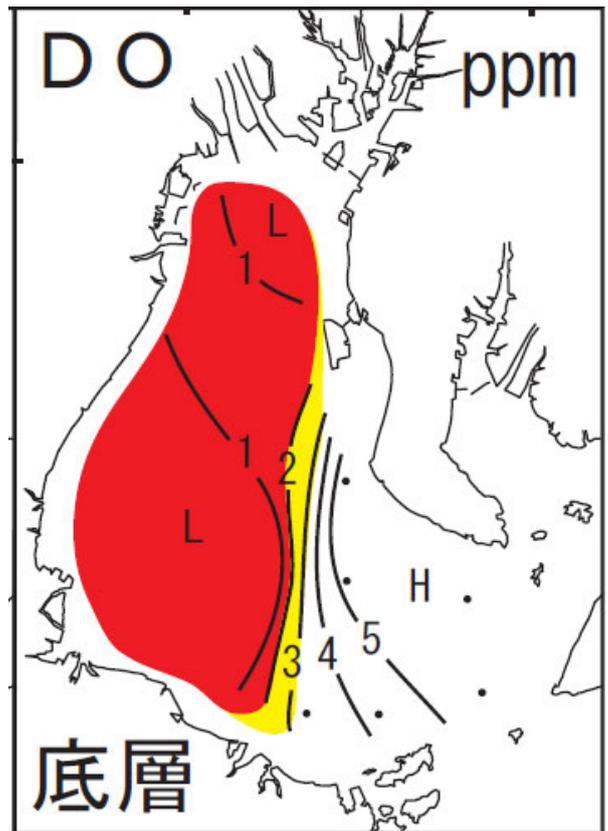
10月7日の調査結果

10月7日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 23.9～24.8℃、10mで 24.0～25.2℃、底層で 23.0～24.7℃の範囲にあり、表層と 10mは平年より高め、底層ではやや高めから高めとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.3～13.4ppm、10mで 1.2～6.5ppm、底層で 0.1～6.0ppmの範囲にあり、表層は平年よりやや高め、10mで低め、底層ではやや低めとなっていました。

底層では三重県の沿岸域に沿って広い範囲で 2ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

伊勢湾では今後海水の上下混合が起りやすい時期となるため、貧酸素状態は徐々に解消に向かうものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図